

NORITSU

face the NEXT™

**2019年3月期
決算補足説明資料**

2019年5月15日

ノーリツ鋼機株式会社

2019年3月期実績と2018年3月期実績の比較

■ 2019年3月期（当期）

単位：百万円

■ 2018年3月期（前期）

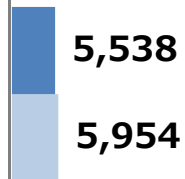
主な要因

売上収益



日本共済の加入が寄与（43億29百万円）
ヘルスケア、シニア・ライフが好調

営業利益

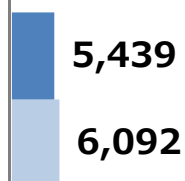


ものづくりセグメントで前期比△1億70百万円
（*中長期の成長のための生産体制強化に向けた人員増強）
となったものの一過性コストを除くと前期と同水準

一過性コストは△5億50百万円

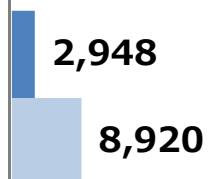
- ・ 減損(ドクターネット、NKアグリ)△2億89百万円
- ・ IFRS15号(会計方針の変更)△1億68百万円 等

税引前利益



前期に計上している一過性の金融収益6億97百万円を
除くと同水準

親会社の所有者
に帰属する
当期利益



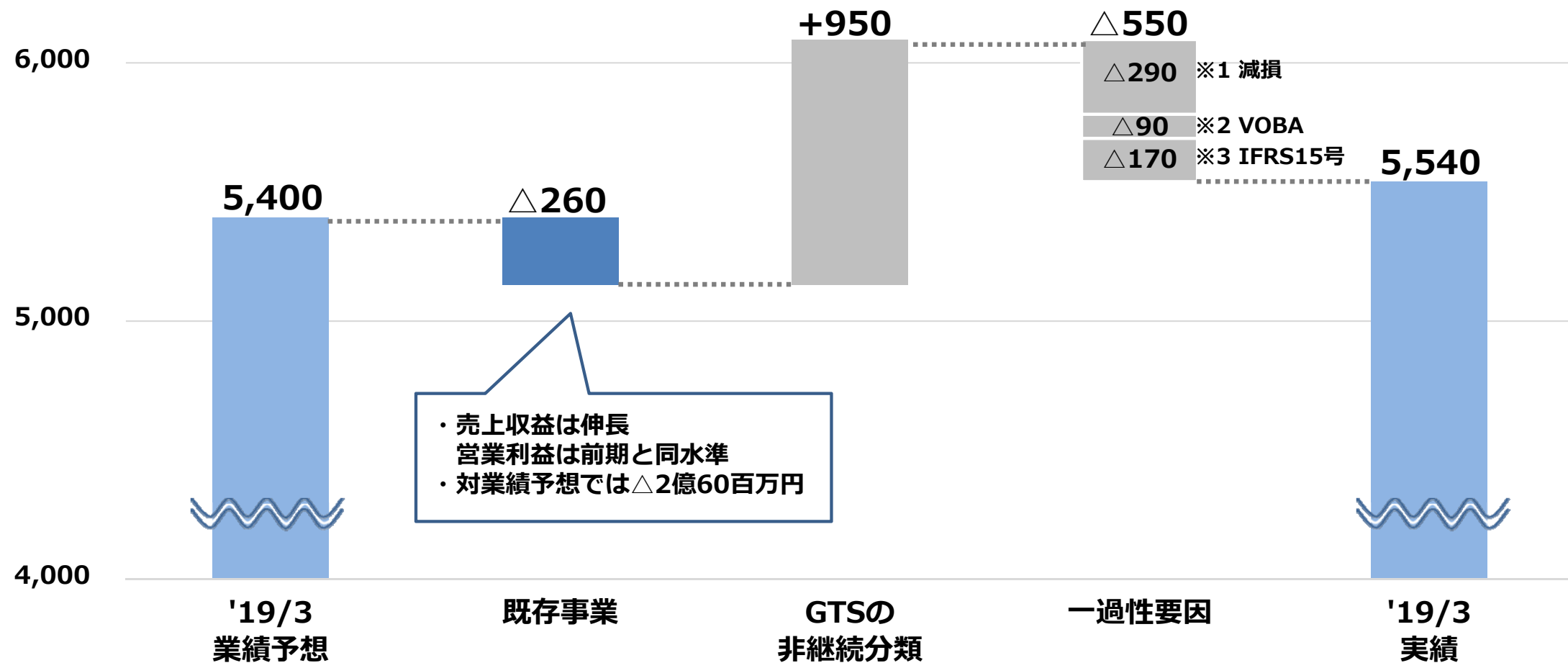
前期に計上している一過性要因の影響

- ・ 金融収益（上記）
- ・ 繰延税金資産（51億円）

※創薬セグメントのGTSが非継続事業に分類された影響により、「売上収益」「営業利益」「税引前利益」において、前期を遡及修正しております。

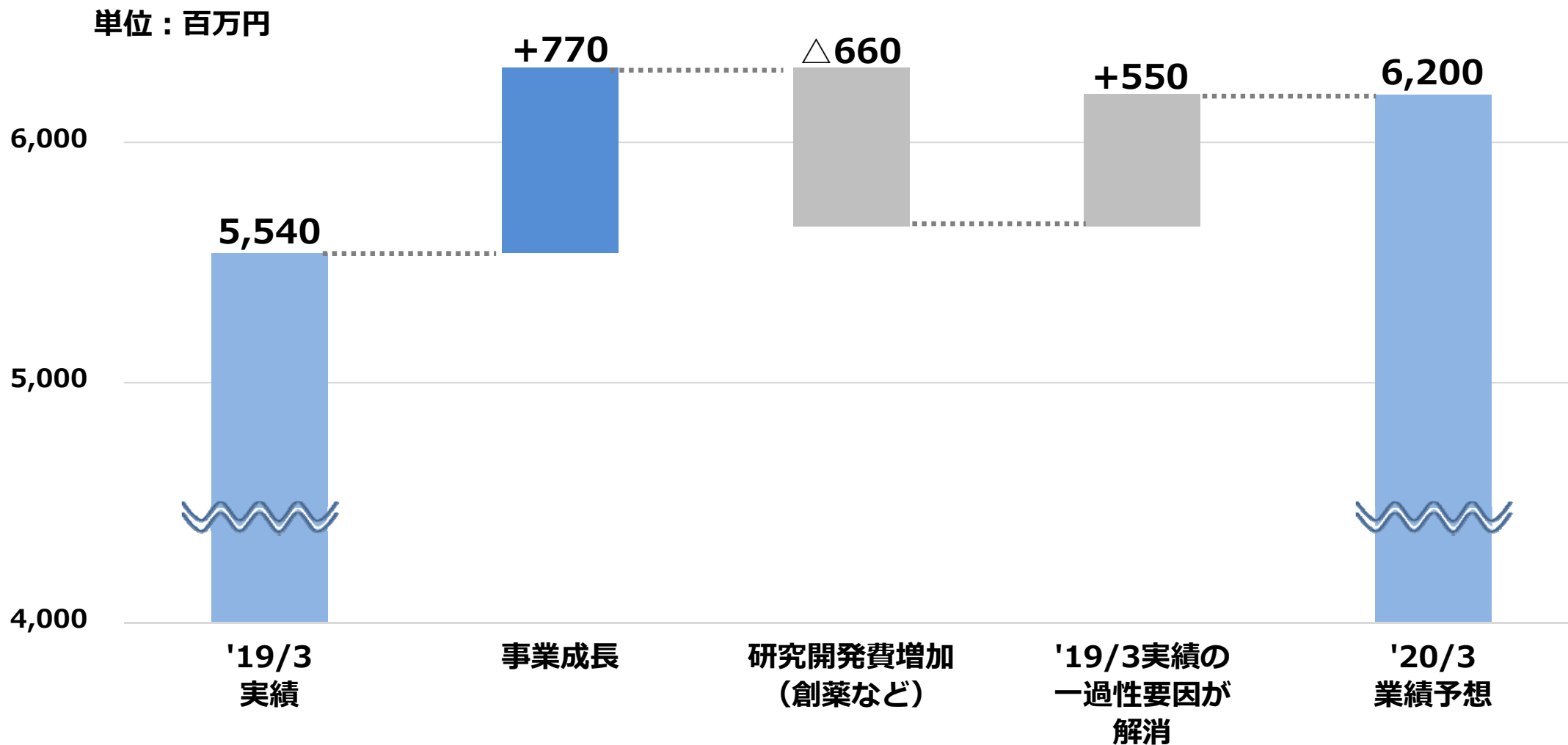
2019年3月期業績予想と実績の比較【営業利益】

単位：百万円



※1 減損：ドクターネットのシステム資産の減損△150百万円、NKアグリ植物工場の減損△90百万円等。
 ※2 日本共済買収に係るVOBA償却：取得日現在における既存の保険契約の公正価値を無形資産に計上したもの。保険契約の期間に応じて償却を要する。
 ※3 IFRS15号「顧客との契約から生じる収益」：当連結会計年度における会計方針の変更の影響。
 ※4 数値については、要素分解をわかりやすく示すため概数を記載。

実績と2020年3月期業績予想の比較【営業利益】



※数値については、要素分解をわかりやすく示すため概数を記載。

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。